一般財団法人 カンボジア地雷撤去キャンペーン
２０周年記念式典・祝賀会　ご報告

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーンは、本年５月に創立２０周年を迎え、記念事業として５月１２日（土）に２０周年記念式典・祝賀会を実施致しました。
式典・祝賀会を合わせ６４８人の方々に御参集頂き、盛況のうちに終える事ができました。
詳細につきまして、下記の通り報告させて頂きます。

当日は午前１０時に事務局・ボランティアスタッフが集合し、準備に取り掛かりました。

記念式典は都久志会館にて１４時より開催し、いつもご支援頂いている皆様をはじめ、当財団についての話を初めてお聴きになる方まで、４２８名の方々にご参集頂きました。

式典開会前にはホールにおいて、展示品の説明やCMCグッズの販売、募金・書き損じハガキの回収を行い、皆様からのたくさんの愛を頂戴致しました。

式典の司会は、ＦＢＳアナウンサー 若林麻衣子氏が務め、ご来賓を代表して福岡市教育長 星子明夫様、NGO 福岡ネットワーク代表 二ノ坂保喜様にそれぞれご丁寧なご祝辞を頂きました。ご多忙の中、ありがとうございました。

続いて理事長大谷賢二より、「ＣＭＣ２０年のあゆみ」というテーマで、講演を行いました。カンボジアでの地雷撤去支援を開始した頃の事や、今後ＣＭＣがめざしていく方向等、約７０分にわたり講演を行いました。また講演の中では、歴代の現地駐在員・各地事務局責任者・支援をしてくれた小学校の卒業生が壇上に上がり、それぞれの当時の活動や思いを話してくれました。

（左から）大谷理事長、古川純平初代駐在員、渡辺雄太元駐在員

（左から）前田さやか元駐在員、由見裕也元駐在員、砥綿泰弘元駐在員

（左から）田中甲斐元駐在員、松本直樹元駐在員、ラブット現地職員

（左から）大分事務局 羽田野勝利、東北事務局 十文字宏之、愛知事務局 山田勝巳、岡山事務局 石合六郎

（左から）舞の里小学校卒業生 小森茉奈さん、山川美里さん、粕屋西小学校卒業生 井上ひかりさん、中村雅さん

そして「魂音」による和太鼓演奏をご披露頂き、休憩となりました。
休憩中は物販コーナーに多くの方が集まったり、アキラ氏との交流を深めておられました。

休憩後は田口睦奥雄様、羽田野勝利様、松本駐在員、ラブット現地職員に対し、大谷理事長よりこれまでの活動に敬意を表し、表彰状・記念品を贈呈しました。また、２０１７年度書き損じハガキプログラムにおいて、４，３７５枚のハガキを寄付してくれた新宮東小学校を代表し、中山苺香さんに感謝状を授与し、感謝の意を述べました。

式典の締めくくりとしてアキラ氏の講演を行いました。これまでの活動と今の活動について話しをしてくれ、皆様真剣にアキラ氏の話聞いておられました。講演の後には質疑応答の時間を設け、参加者の疑問に答えてくれました。最後にアキラ氏の活動に敬意を表し、花束・記念品を贈呈し、式典は閉会致しました。

１７：３０からは会場をホテル福岡ガーデンパレスに移し、２０周年記念祝賀会を開催。２２０名の方々にご参列頂きました。

開会に先立ち「CMC ボップイ三好小学校」建設にご支援を頂いた、㈱三好不動産 代表取締役社長 三好修様、ニッポンインシュア㈱ 代表取締役社長 中島種敏様に、カンボジア政府フンセン首相からの感謝状と、CMC からボップイ三好小学校に飾られているランプの贈呈を行いました。

続いて理事長大谷賢二より、皆様に挨拶とこれまでの数々のご支援にお礼の言葉を述べました。

ご来賓を代表して、西日本・カンボジア友好協会会長 江頭和彦様、㈱西日本新聞代表取締役社長 柴田建哉様にご祝辞を頂戴しました。

「CMC トゥールポンローみおつくし中学校」建設にご支援を頂いた㈱データマックス社主 児玉悦子様、「CMC コーントライ夢中学校」建設にご支援を頂いた佐世保青年会議所第５５代理事長 曽和英徳様、バイク７台を CMC に寄贈して頂いた元アジアホンダ事業企画室長 田中雅章様に表彰状・記念品を贈呈致しました。

その後、ライオンズクラブ国際協会ガバナーエレクト 林田俊一様に、ご挨拶及び乾杯のご発声を頂きました。

歓談中に頂いた祝電を紹介した後、再び魂音が登場し、書作家の中島美紀様とのコラボレーションショーをご披露頂きました。書の文字は「愛」「平和」「地球人」の三文字であり、それは理事長大谷賢二が大切にしているもの・考え方であります。

更に祝辞として、スリーアールグループ代表取締役 今村陽一様にご挨拶を頂き、長きに渡りCMCをご支援して下さっているひまわり会会長 的野寛様にはご挨拶と目録を頂戴し、CMCから感謝状を贈呈致しました。

歓談中に再び魂音様の太鼓の演奏と「モザンビークの命をつなぐ会」代表榎本恵様・ナジャ様によるアフリカ音楽のご披露を頂きました。余興の締めくくりには、マイラス様よりモンゴル楽器馬頭琴の演奏をご披露頂きました。

祝賀会の終盤には、理事長大谷賢二より一言お礼を述べ、長女宇宙さん、次女真心さんから理事長へ花束が贈られました。

最後に福岡県議会議長　樋口明様より中締めのご挨拶を頂き祝賀会はお開きとなりました。

２０周年記念事業には多くの皆様に、多大なるご協力をいただきました。特に２０周年記念誌にご協賛頂きました多くの企業様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。
カンボジアでの地雷被害ゼロに向け、一層現地活動に注力していく所存でございます。
今後も変わらぬご支援の程、宜しくお願い致します。

CMC20周年記念事業　新聞記事一覧

西日本新聞

19版　2018年(平成30年)5月8日　火曜日

NGO「カンボジア地雷撤去」20周年

12日式典「惨状伝えたい」

都久志会館

カンボジアで地雷撤去や被害者支援に取り組む非政府組織（NGO）「カンボジア地雷撤去キャンペーン（CMC）」（福岡市早良区、大谷賀二理事長）は10日、発足から20周年を迎える。大谷理事長らが7日、福岡市役所を訪れ、12日に同市・天神の都久志会館で開く20周年記念式典をPRした。

式典では、大谷理事長による20年間のあゆみの講演▽昨年度、書き損じはがきを4千枚以上集めた新宮東小（新宮町）など、支援者への感謝状贈呈▽カンボジアの元少年兵で地雷除去活動家のアキラさんによる講演と意見交換▽地雷や金属探知機の模型、パネルの展示を予定している。

CMCによると、カンボジアには現在、推計で30万～40万箇所の地雷が埋められており、昨年の死傷者は58人。大谷理事長は「小中高生にも来てもらって、同じ世代の仲間が被害に遭っている現状を伝えたい」と式典への参加を呼びかけている。

式典は12日午後2時から。定員900人で参加無料。書き損じはがきや未使用のはがき、切手、テレホンカードの回収箱、募金箱を設置する。問い合わせはCMC（092・833・7676）。（森下公尚）

カンボジアで地雷撤去や被害者支援に取り組むカンボジア地雷撤去キャンペーンの大谷賀二理事長

入荷の人上旬手に密着した山歩き専門誌 季刊のぼろ 書店で好評発売中

2018年 5月8日（火曜日）

THE YOMIURI SHIMBUN

讀賣新聞

2018年(平成30年) 5月9日 水曜日

「カンボジア地雷 関心深めて」

天神12日、設立20年式典

福岡市の非政府組織（NGO）「カンボジア・地雷撤去キャンペーン（CMC）」は11日、設立20年の記念式典を同市・天神の都久志会館で開く。CMCは「カンボジアの地雷被害について、関心を深めてほしい」と参加を呼びかけている。

式典では、カンボジアの地雷撤去や20年間の取り組みについて、大谷賀二理事長（65）が報告。現地で駐在員として活動した若者らが登壇し、地雷被害者を支援するとともに、学校建設や農業支援に取り組んだことを紹介する。

式典は午後2～5時で、参加無料。定員600人。午後5時半からは、近くの企業の個人の支援によるパルコ出版や書き損じハガキを集めるなどした小学生の活動も支えられてきた。大谷理事長は「日本の子どもたちが地球上に目を向け、他人のために行動するきっかけになれば」と話している。

式典は午後2～5時で、参加無料。定員600人。午後5時半からは、近くのカンボジアの地雷博物館館長らも自身の体験を語る。カンボジアの地雷博物館館長の講演や、地雷の模型、撤去作業の道具などの展示もある。

CMCの活動は、多くの企業や